

戸 田 市 教 育 委 員 会 会 議 録			
招 集 期 日	平 成 2 7 年 8 月 1 9 日 (水)		
場 所	戸 田 市 役 所 教 育 委 員 室		
開 会	8 月 1 9 日 午 前 9 時 3 0 分		
閉 会	8 月 1 9 日 午 前 1 1 時 1 0 分		
教 育 長	戸ヶ崎 勤		
教 育 長 ・ 委 員 出 席 状 況	戸ヶ崎 勤	出 席	
	仙 波 憲 一	出 席	
	吉 田 辰 行	出 席	
	鈴 木 晃	出 席	
	土 肥 美 奈 子	出 席	
説 明 員	中川教育部長、鈴木次長、西袋次長、熊谷副参事、		
	栗津教育総務課長、星野学務課長、山根指導課長、		
	津田生涯学習課長、生涯学習課 青木主幹、教育総務課 諏訪村主幹		
書 記	教育総務課総務担当 山本主任		
傍 聴 人	3 人		

会 議 の 経 過 及 び 結 果

教 育 長	<p>ただ今から、平成27年第8回戸田市教育委員会定例会を開会いたします。</p> <p>初めに、前回の会議録の承認ですが、事前に会議録の内容を見ていただいておりますので、ご異議がないようでしたら承認ということによろしいでしょうか。</p>
各 委 員	了承
教 育 長	それでは、会議録にご署名をお願いします。
各 委 員	署名
教 育 長	<p>次に、秘密会となる案件につきましてお諮りいたします。次の案件については、個人情報に関する案件、議会提出案件、人事に関する案件、県や他市との協議などに関する案件となりますので、秘密会で行うこととしてよろしいかお諮りいたします。</p> <p>報 告 事 項 ① 平成27年度第1回戸田市海外留学奨学生について</p> <p>議案第34号 平成27年度一般会計教育委員会関係9月補正予算（案）について</p> <p>議案第35号 平成27年度海外留学奨学事業特別会計9月補正予算（案）について</p> <p>議案第36号 戸田市立図書館・郷土博物館協議会委員の委嘱について（案）</p> <p>議案第37号 全国及び県学力・学習状況調査の結果の公表の方向性について</p> <p>議案第38号 平成28年度使用中学校用教科用図書採択替えについて（案）</p>
各 委 員	異議なし
教 育 長	それでは、「報告事項①、議案第34号から議案第38号」は、秘密会とすることに決定いたしました。
教 育 長	はじめに、「教育委員提案について」ご報告いたします。先月の教育委員会で委員よりご質問のあった件について2件の報告がございます。

	<p>① 県学力・学習状況調査の結果について</p> <p>② ICTの活用状況について</p> <p>詳細につきまして、各所属長より報告いたします。</p>
<p>事務局</p>	<p>①県学力・学習状況調査の結果について報告します。</p> <p>今回の調査の概要ですが、対象学年は、小学校4年生～中学校3年生で、教科は、国語と算数・数学の2教科、中学校2・3年生のみ国語、数学に英語が追加された3教科となっております。</p> <p>戸田市全体の結果は、全学年・全教科で埼玉県の前年を上回る結果でした。</p> <p>資料1 ページ中段をご覧ください。左上と左下の表は直近に行われました平成25年度の県学力調査のデータの一部です。平成25年度調査は小学校5年生と中学校2年生を対象とした調査でした。そこで、戸田市と県との差を「伸び」と捉え、過去のデータと比較することで子供たちの伸びの状況やその要因を考えることにいたしました。</p> <p>1点目は、小学校5年生同士の比較です。国語・算数ともに上昇傾向にあります。</p> <p>2点目は、平成25年度の小学校5年生の2年後、つまり中学校1年生になったときとの比較です。学年が上がるにつれて問題も難しくなりますので、数値自体は低くなりますが、数学において上昇傾向が見られました。</p> <p>3点目は、中学校2年生同士の比較ですが、こちらは、今年度3教科ともに大きな上昇が見られました。</p> <p>資料の2ページは、県のHPに公開されている市町村別結果一覧です。県内他市町村の結果について参照することができ、戸田市の位置も確認することができます。</p> <p>冒頭で「全学年・全教科で県平均を越えた」と説明いたしましたが、</p>

	<p>より詳細な分析をしますと、課題も浮かびあがりました。</p> <p>資料の3ページをご覧ください。小学校4年生の国語の観点別評価「話すこと・聞くこと」と「書くこと」で、県平均を下回っております。</p> <p>また、資料7ページをご覧ください。中学校3年生の数学の領域別結果「資料の活用」で、県平均を下回っております。</p> <p>さらに、資料9～11ページをご覧ください。こちらは、児童生徒質問紙調査の結果です。</p> <p>「毎日、朝食を必ず食べる」「10時までに寝る」「将来の夢や目標をもっている」「1日の携帯電話、スマートフォンでの通話やメール、インターネットを2時間以上使用する」「勉強が好き」の項目で課題が見られています。生活習慣の改善が市内児童生徒には必要と考えております。</p> <p>最後になりますが、今回の埼玉県学力・学習状況調査では、戸田市の児童生徒の成果が見られた結果となりましたが、まだまだ課題もあります。この状況に甘んじることなく、引き続き学力向上に関するアクションを起こしていきたいと考えております。</p>
事務局	<p>②ICTの活用状況について報告します。</p> <p>ICTの活用状況について、教育総務課ではICT教育環境のハードウェア整備を実施しておりますので、機器の導入状況について説明いたします。</p> <p>資料12ページをご覧ください。まず、第二期教育振興基本計画で政府が掲げる目標と戸田市の現状ですが、現在のところ、目標を着実に達成しつつあります。</p> <p>既に達成したものについては次のとおりです。</p> <p>①コンピュータ教室については、調べ学習の授業などで児童生徒が直接パソコンを操作できるコンピュータ40台を各校に設置しております。現在、戸二小・新曾小・美谷本小・笹目小・戸東小・戸南小・美笹</p>

中・新曾中の8校はデスクトップ型、戸一小・喜沢小・笹目東小・新曾北・美女木・芦原小学校、戸田中・戸田東中・喜沢中・笹目中の10校はタブレット型を導入しており、ICTリテラシーの向上を図っています。

②各教室のコンピュータについては、授業の際に教室において教員がデジタル教科書やインターネットの学習コンテンツを参照するために使用しております。

また、実物投影機はカメラとライトが組み合わされた投影機で、電子黒板は教室用コンピュータや実物投影機を接続して表示する50インチのテレビであり、導入済みです。

校務用コンピュータは児童生徒の成績などの情報を管理できる校務支援システムを利用するために、教員一人に1台導入しております。

教育クラウドについては、後ほど指導課より説明いたします。

ICT支援員は学校におけるICT関連の相談や、パソコン、ネットワークに関する作業を行っており、各学校に配置しております。

次に、現在、未実施または未達成となっている目標については、3つございます。一つ目は設置場所を限定しない可動式コンピュータ40台の導入、二つ目は超高速インターネット接続、三つ目は無線LAN整備でございます。

設置場所を限定しない可動式コンピュータについては、現在、未実施となっておりますが、導入に当たっては、利用方法などを研究し、効果的な運用方法を見極めた上で導入を目指したいと考えております。

超高速インターネット接続についてですが、戸田市の情報通信は地域イントラネットを介しており、基幹となる新曾南庁舎と、学校や教育センターを結ぶ通信速度は100メガのものを利用しています。1クラスの生徒が一度にインターネットを参照するような状況では、応答速度に若干問題が生じることがあるため、市の情報管理部門と調整しながら、

改善を目指します。

無線LAN整備については、パソコン教室のタブレットパソコンを校内の主要な教室において無線環境で利用することを目的に整備しており、整備状況は現在18校中2校（11%）に止まっております。平成28年度と平成29年度に各8校を整備し、全校で利用できるよう計画しております。

これらの未実施事業について、新規導入や改善などを行い、より良いICT教育環境を構築していきたいと考えております。また、これらを利用する上で欠かせない、情報セキュリティに関する事業を展開しており、情報セキュリティ事故を未然に防ぐよう努力いたしております。

今後のICT教育環境の整備予定につきましては、資料のとおりほぼ毎年、機器の更改がございます。予算の確保が大変難しい状況であることから、特定の年度に負担が集中しないよう、分散しながら計画的に導入を進めてまいります。

次に指導課よりICTの活用状況について報告します。

資料14ページをご覧ください。指導用デジタル教科書の活用に関する調査結果です。

指導用デジタル教科書は、授業において、教員が大型の画面に教科書を大きく映し出して使ったり、入っている音声や動画も併せて使用したりすることで、児童生徒に分かりやすく学習内容を伝えるという効果がある道具です。この指導用デジタル教科書の活用において、「ほぼ毎回使う」「使うことの方が多い」を合わせた割合が小学校では60%、中学校では50%を越えます。

また、デジタル教科書を授業のどんな場面で活用するかに対し、「学習の理解を深める場面」は小・中学校ともに活用率が高い実態がある反面、「児童が発表をする場面」「活動の手順を説明する場面」は小・中の両方で、「課題を提示する場面」においては、中学校で課題が見られます。学

	<p>習場面を想定した活用の仕方を教員に示し、さらに場面に応じた活用が図られるよう、指導用デジタル教科書の活用を推進してまいります。</p> <p>続いて、資料16ページをご覧ください。デジタルソフト教材「eライブラリ」の活用に関する調査結果です。</p> <p>eライブラリとは、例えば、問題の掲載された学習プリントをすぐに印刷できたり、パソコンを使用して個人の理解度に合わせた学習を行ったりすることができるデジタル教材であり、授業はもちろん、とだっ子学習クラブでも使用しているほか、個人ログインIDを配付し、家庭でも使用することができるものです。</p> <p>校内利用状況については、昨年度4月～1月までのアクセス数での結果となりますが、1校1日あたりの平均として、小学校では57件、中学校では3件となっており、とだっ子学習クラブでは使用されているものの、まだまだ活用を工夫できる余地があります。</p> <p>また、家庭学習利用状況ですが、のべ2,593人が利用しておりますが、活用している学校とそうでない学校の格差がある状態です。</p> <p>成果といたしましては、意欲や楽しさの向上などの児童生徒側の成果と、教材準備の充実や採点時間の短縮など教師側のメリットが示されております。</p> <p>資料17ページは、小学校のとだっ子学習クラブを運営しているわくわくティチャーと小学校学習支援サポーターの意識調査結果です。</p> <p>成果と課題が明確になってきており、学校訪問でも活用状況を聞いたり、提案したりするなど、活用方法の改善に取り組んでいるところです。</p> <p>指導課では、指導用デジタル教科書やeライブラリなどICT機器を更に活用できる取組を工夫し、とだっ子の学力向上を図ってまいります。</p>
<p>教 育 長</p>	<p>以上で報告が終わりました。何かご質問等がありましたら伺います。</p>
<p>委 員</p>	<p>県学力・学習状況調査で調査を行った全学年・全教科で県平均を上回っ</p>

	たということで、なぜそのような素晴らしい結果になったのか、分析を聞かせてください。
事務局	<p>主な要因の一つは、市内全校が市の研究委嘱を受け、この2年間に各小・中学校で授業改善や家庭学習の推進など、地道な努力の積み重ねを行い、各学校の教員が頑張ってきたことが今回実を結んだものと考えます。また、市内には学力向上に係る先進的な取組を進めているモデル的な学校があり、そのような学校からよい刺激を受け、各学校で新たな学力向上へのアクションを起こしてきたことも要因の一つと考えます。</p>
委員	<p>成績向上の要因の一つとして、戸田市の素晴らしい教育環境が挙げられると思います。それら様々な要因を総合的に分析していただきたいと思います。</p> <p>他市からもなぜ伸びたのか問い合わせがあるのではないですか。</p>
事務局	既に問い合わせを受けております。
教育長	<p>分析する際に、課題や悪いところを良くするにはどうしたらよいかということに目が行きがちですが、良いところやなぜ伸びたのかということも分析し、それを更に伸ばしていきたいと考えます。</p> <p>その際、エビデンスベースの検証が必要だと思いますので、客観的なデータをもとに分析をお願いします。</p>
事務局	承知いたしました。
委員	先程の説明で、政府の目標に対しまだ未実施の部分もありますが、かなりICT環境の整備が図られていると思います。しかし、環境は整備されているものの、eライブラリの利用率が低いのはなぜでしょうか。
事務局	eライブラリは、IDの入力やパソコンを立ち上げる等の手間等がかかり、自主的に取り組むにはハードルが高いのではないかと考えられます。また、eライブラリ自体がクリックするだけの単純な行為で進めていく学習であり、正解か不正解だけの応答しかないことや、問題を解く

	過程が十分に示されていないなどの課題もあり、eライブラリに取り組んでも、短時間で飽きてしまい、継続していく楽しさや喜びが少ないことも利用率が低い要因と考えられます。
委員	保護者からの意見はいかがですか。
事務局	市販されているドリルを購入しなくてよくなったという意見やたくさん問題を解けてよいという意見をいただきました。反対に、取り組んでみたものの飽きてしまったという意見もいただきました。また、子供だけでパソコンを使わせたくないという意見もありました。そのような家庭に対しては、問題をプリントアウトして配布するなど各学校で工夫しております。
委員	eライブラリなどのデジタル教材は、反転授業や進路に応じた利用ができると思います。ICT環境が整っているので、利用の仕方についても家庭を巻き込んで、先生・子供・家庭が連携して新しい戸田市の教育モデルを作っていただきたいと思います。
事務局	これまでも学校の保護者会開催日に、導入業者であるラインズによる訪問説明を行ったり、各学校に活用を図るための通知を出したりしております。 今後も費用がかからない学習教材としての利点や休業日の利用など、eライブラリのよさを家庭でも認識してもらえるよう、啓発していく必要があると考えております。
委員	家庭との連携という点で、パソコンが使えない保護者もまだまだ多いので、保護者に使い方などをしっかりわかってもらう必要があるかと思えます。 また、学校からもeライブラリの活用についてあまり通知がなかったような気がします。もう少しアピールが必要かと思えます。
委員	教員をした経験から、教員は授業が第一だと思っています。その次にこのようなICTの活用をすべきではないかと思えます。

<p>教 育 長</p>	<p>中学校のデジタル教科書の活用率が低いですが、その原因をどのように捉えていますか。</p>
<p>事 務 局</p>	<p>授業における効果的な活用法の周知が十分ではないと考えられます。そのため、今年度、年度初めにデジタル教科書をはじめとする I C T 機器を活用するための校内研修会を各学校で開催してきました。また、教育センターの研修会や学校訪問で朗読機能や拡大表示機能など短い時間で活用できる例を紹介するなど、啓発を行っています。</p> <p>中学校は教科担任制のため、使用しない教員がいると学年全体で活用率が下がってしまいます。今後、活用が少ない教員には効果を伝え、活用を促してまいります。</p>
<p>委 員</p>	<p>私の考えですが、I C T は教えるためのツールであると認識すべきだと思います。授業の中身が大事なのは当然のことで、戸田市が他市に先駆けて I C T 環境を整備していくと決めたならば、先生はもちろんのこと、家庭や地域一体となって進めていく必要があると思います。</p>
<p>教 育 長</p>	<p>教員としてのプライドをもって授業をするのは当然だと思っています。黒板とチョークでよい授業ができない教員は、I C T を使ったとしてもよい授業ができるとは思いません。まず、教員としての力量が第一だと思っています。その上で最先端のものもどんどん研究していかなければならないと思っています。せっかく他市に先駆けて環境を整備しているわけですから、それを活用しなかったら市民に申し訳が立ちません。</p> <p>今、O E C D 各国では、知識伝達型ではなく、コンピュータを使って子供たちがクリティカル・シンキングをできるようにする取組が主流となっています。そのための環境整備や 2 1 世紀型スキルを育成するために、e ライブラリなどのデジタルコンテンツも対話型のものにするなど形を変えていかなければならないと思っています。また、戸田市の子供たちのスマートフォン保有率が高いので、それを逆手に取った取組も必要であると思っています。</p>

委 員	今の話を聞いていると、やはり保護者の理解が必要であると思います。
事 務 局	中途半端にお知らせするのではなく、徹底的に知っていただきたいこととそうでないことのメリハリをつけて情報を伝えていきたいと思えます。
教 育 長	<p>続きまして、「報告事項」について申し上げます。本日は、「その他」を含めまして7件の報告がございます。</p> <p>① 平成27年度第1回戸田市海外留学奨学生について</p> <p>② 戸田市いじめ問題調査委員会の開催について</p> <p>③ 戸田市サイエンスフェスティバル2015～子ども大学とだ～の結果について</p> <p>④ 「授業がわかり、興味・関心や意欲をもって取り組んでいる児童生徒の割合」に関する調査について</p> <p>⑤ 戸田市立少年自然の家指定管理者の募集について</p> <p>⑥ 戸田市立図書館・郷土博物館の臨時休館について</p> <p>⑦ その他</p> <p>詳細につきまして、各所属長より報告いたします。なお、ご質問につきましては、すべての報告が終了したのちに伺います。</p>
事 務 局	<p>②戸田市いじめ問題調査委員会の開催について報告します。</p> <p>いじめ問題に総合的に取り組むために設置している戸田市いじめ問題対策連絡協議会につきまして、去る7月31日に開催いたしました。戸田市におけるいじめ等の状況の報告、今後の市全体をあげてのいじめ防止の取組について有意義な協議を進めることができました。</p> <p>連絡協議会に引き続き、本日19時に平成27年度第1回戸田市いじめ問題調査委員会を開催いたします。この調査委員会につきましては、いじめに関する重大事態が発生し、学校が調査困難になった場合、教育委員会の付属機関として調査に当たるものです。</p>

	<p>資料3ページの戸田市いじめ問題調査委員会条例第3条の規定により、委員は、弁護士、学識経験者、医師、児童委員の代表で組織されており、国のいじめ防止推進法でうたわれているとおり、専門的な知識及び経験を有する第三者で構成し、公平性・中立性を確保しております。</p>
<p>事務局</p>	<p>③戸田市サイエンスフェスティバル 2015～子ども大学とだ～の結果について報告します。</p> <p>7月24日（金）に芦原小学校を会場として実施されましたサイエンスフェスティバルには、児童生徒、保護者を合わせまして1,065人の参加がありました。参加人数は、昨年度とほぼ同数でした。</p> <p>サイエンスフェスティバルは、児童生徒が観察・実験や自然体験、科学的な体験を通して理科の楽しさを味わい、学習意欲の向上を図ることを目的としています。資料は各ブースの様子です。親子で参加している方が多く、保護者が児童生徒の体験を見守っている様子も多く見られました。</p> <p>また、ボランティア参加者として戸田市理科部会の教員、教員ボランティア、理科支援員の54人の参加があり、事前の準備を含め、彼らの貴重な研修の場にもなりました。</p>
<p>事務局</p>	<p>④「授業がわかり、興味・関心や意欲をもって取り組んでいる児童生徒の割合」に関する調査について報告します。</p> <p>本市における目標値は、資料8ページの上段のとおり、平成27年度までの目標値として、小学校で90%、中学校で80%に設定しております。</p> <p>全体的な状況といたしまして、「授業の内容がよくわかりますか」という問いで、よくわかる、だいたいわかると回答した児童生徒の割合は、平均すると小学校88%、中学校76%と昨年と大きな変化はございませんでした。小学校の国語で90%、理科で91%、中学校の国語で80%と目標値に達している教科もございます。</p>

	<p>また、「授業に積極的に取り組んでいますか」という問いでは、小学校において全教科平均が88%、中学校全教科平均が82%で、昨年に比べ1ポイントから2ポイント向上し、中学校は目標値に達しました。小学校では3教科で目標値の90%を上回り、中学校では目標値の80%を超える教科が昨年度の7教科から1教科増え、国語・社会・数学・理科・音楽・美術・保健体育・外国語となり、生徒が授業に向かう姿勢に大きな向上が見られます。資料9～10ページは教科ごとの結果です。</p>
<p>事務局</p>	<p>⑤戸田市立少年自然の家指定管理者の募集について報告します。</p> <p>長野県にあります少年自然の家では、市内小学校の林間学校、中学校のスキー研修に利用し、一般の方にも利用いただいております。現在、指定管理者による管理・運営を行っておりますが、今年は指定管理期間5年間の最後の年度となります。来年度からも引き続き指定管理者による施設の管理・運営を行いたく、今年度中に新たな指定管理者を選定する予定で事務を進めております。</p> <p>指定管理料の上限は、5年間で2億439万8千円（税抜）です。8月5日から9月4日まで申請を受け付けすることとし、質問期間を設けます。8月20日には現地説明会を開催する予定です。現地説明会の参加希望は、現指定管理者を含め3社です。選定については、まず生涯学習課が書面審査を行い、次に選定委員会を開催し審査を経て指定管理者候補者を決定します。決定した候補者について、市議会の議決を経て指定管理者を指定することとなります。</p>
<p>事務局</p>	<p>⑥戸田市立図書館・郷土博物館の臨時休館について報告します。</p> <p>月末休館日である平成27年7月31日（金）に空調機が故障し、ほぼ全館にわたり冷房が効かない状態となったため、平成27年8月1日（土）及び8月2日（日）の2日間、図書館・郷土博物館を臨時休館といたしました。</p> <p>故障の原因は、電磁弁の不具合によるものです。当該部品を取り寄せ</p>

	<p>るのに時間がかかり、8月3日（月）の早朝に修理の予定となったため、平成27年8月1日（土）及び8月2日（日）を臨時休館とし、8月3日（月）から通常開館いたしました。</p> <p>なお、戸田市立図書館条例及び戸田市立郷土博物館条例の規定により、休館日は条例で規定されている日及び教育委員会が必要と認めた日となっており、事前に承認をいただく必要がありましたが、急な故障であったため、事後の報告とさせていただきます。</p>
教 育 長	次に⑦ その他ですが、事務局より何かございますか。
事 務 局	先月の教育委員会で報告いたしました、新曽小学校の音楽室のアスベスト天井部材の除去工事につきまして、8月7日に県の中央環境管理事務所の事前立会を行い、法の定め通り万全の体制が整っているか検査を頂き、10日から13日の間で除去工事を実施しました。14日、同じく中央環境管理事務所の事後立会を行い除去工事の完了検査を行い、アスベストの除去が無事終了いたしました。
事 務 局	先月の教育委員会でご質問のありました、「絶歌」の戸田市立図書館での取り扱いにつきまして、県南部の図書館の購入状況を調査したところ、購入した図書館が3分の1にも満たない状況でした。本市におきましてもまだ購入はしておりません。
教 育 長	以上で、「報告事項」が終わりました。何かご質問等がありましたら伺います。
委 員	<p>報告事項⑤に関して、来年度から5年間の指定管理を行うとのことですが、少年自然の家の耐震工事は終了していて、今後長期の使用に耐えるという理解でよろしいですか。</p> <p>また、5年間で約2億円の指定管理料ということは、1年間で約4千万円の費用がかかるということで、子供たちの利用が主だと思いますが、これはペイできているのでしょうか。</p>
事 務 局	耐震工事は既に終了しております。来年度から5年間は指定管理をし

	<p>ていきますが、その後については検討が必要だと考えております。</p> <p>他市の例では、老朽化した自然の家を廃止し、ホテルなどに宿泊して林間学校を行うものに補助金を支出するなど、自然の家のあり方が変化してきております。今後も引き続き検討を行ってまいります。</p>
教 育 長	<p>それでは、他に質問等が無いようですので、次に議事に入りますが、議案第34号から議案第38号は、秘密会とすることに決定しておりますので、次第の6. その他の「次回の教育委員会の日程（案）」について、事務局より説明願います。</p>
事 務 局	<p>次回、教育委員会定例会の日程ですが、9月24日（木）午前9時30分からの開催について、お伺いたします。</p>
教 育 長	<p>それでは、次回の教育委員会定例会の日程は、事務局（案）のとおりでよろしいでしょうか。</p>
各 委 員	<p>了承</p>
教 育 長	<p>それでは、次回の教育委員会定例会の日程は、事務局（案）のとおり決定いたします。次に、その他ですが、事務局から何かございますか。</p>
事 務 局	<p>特になし</p>
教 育 長	<p>委員から何かございますか。</p>
委 員	<p>以前、現在策定中の第3次教育振興計画について報告いただいたかと思うのですが、その後の進捗状況について次回の教育委員会で報告をお願いします。</p>
事 務 局	<p>承知いたしました。</p>
教 育 長	<p>それでは、「報告事項①、議案第34号から議案第38号」を議題といたします。秘密会とすることに決定しておりますので、説明員で議案に関係する職員以外は退席願います。</p>
	<p>【関係者以外の退席を確認後、報告事項①を報告】</p>

<p>教 育 長</p>	<p>それでは、次に「議案第34号 平成27年度一般会計教育委員会関係9月補正予算（案）について」を事務局より説明願います。</p>
<p>事 務 局</p>	<p>まず歳入について説明します。</p> <p>はじめにインクルーシブ教育システム構築事業です。文部科学省委託となる本事業について、5月に文部科学省に申請したところ、採択決定となりました。国からの委託内定予定額を増額補正するものです。</p> <p>続いて、埼玉県英語教育強化推進事業です。本事業は県教育委員会が策定する英語教育改善プランを推進するため、本市が県から委託を受けたものです。本事業委託金を増額補正するものです。</p> <p>続いて、いじめ対策等生徒指導推進事業です。本事業も先程の事業同様、県教育委員会の委託事業であり、県に申請したところ決定となり、本事業委託金を増額補正するものです。</p> <p>最後に、地域に応じた学力向上推進事業です。こちらも、県教育委員会から笹目中学校が3年間指定を受けて進めている事業であり、今年度が最終年度となります。2年目までは県から委託金が出ましたが、今年度については、委託金0円となっております。しかしながら、発表会は昨年同様の規模で考えており、10月30日に実施する予定です。今年度は、研究発表資料に係る費用の一部を受益者負担の考え方から有償頒布とし、その有償分について増額補正するものです。</p> <p>次に歳出について説明します。</p> <p>はじめの海外留学奨学事業特別会計繰出金につきましては、議案第35号でまとめてご説明いたします。</p> <p>次に、学校教育指導事業に係る補正です。</p> <p>1点目は、昨年11月に締結した戸田市と青山学院大学の包括連携事業のひとつ「スポーツふれあい体験事業」に係る歳出です。本事業においては、青山学院大学の体育会で活躍している学生にボランティアで戸</p>

田市に来ていただき、児童生徒とスポーツをとおし交流を行うという考えでございましたので、平成27年度当初の一般行政経費に計上しておりませんでした。改めて、学生のボランティアの気持ちに対し、図書カードの謝礼とともに、水分補給のためのお茶や、児童生徒との交流を深めるための給食の準備のための費用でございます。報償費および需用費として増額補正するものです。

2点目は地域に応じた学力向上推進事業に係る歳出です。10月30日に実施予定の笹目中学校研究発表会では、国をリードする3名の方からの講演を含め、公開授業等の研究発表を実施します。県内外から500名の参加者を予定しており、そのための研究発表資料と実践事例集をそれぞれ500部、印刷製本するための需用費として増額補正するものです。

続いて、研究・研修事業に係る補正です。

1点目は埼玉県英語教育強化推進事業に係る歳出です。本事業においては、英語教育の改善を図るために、大学の教授など講師を招聘するための報償費や英語教育に係る教材や資料を作成するための消耗品として増額補正するものです。

2点目はいじめ対策等生徒指導推進事業に係る歳出です。本事業においては、平成27年度予算で計上した「いじめ対応プログラム事業」の充実を図るため、青山学院大学教育人間科学部教育学科教授などを招聘するための報償費や旅費、中学校での教材作成や図書購入に係る消耗品費等の需用費、切手購入のための役務費として増額補正するものです。

3点目はインクルーシブ教育システム構築事業に係る歳出です。モデル校の児童生徒が障害者スポーツを通して交流できるよう、例えば車いすバスケットボールの選手など講師を招聘するための報償費や講師と一緒に給食を食べるための会議費、障害者スポーツ大会に児童生徒が見学できるようにするためのバス借上料、「ボッチャ」をモデル校の児童生徒が体験できるようにするためのボールセット購入としての備品購入費な

	<p>ど増額補正するものです。</p> <p>続いて、小・中学校施設管理費に係る補正です。</p> <p>平成21年度に導入した教室用パソコンについて、一部のデジタル教科書で発生している、OSの世代交代に伴う不具合を解消するため、パソコンの更新を行うものです。また、教室用パソコンと同時に導入した機器について、現在保守を実施しておらず、経年劣化による機器故障が発生しており、機器の更改を行うものです。</p> <p>なお、パソコン機器の賃借料及び保守料については、平成28年4月から平成32年3月までの債務負担行為とするものです。</p>
教 育 長	以上で説明が終わりました。何かご質問等がありましたら伺います。
委 員	今回更新するOSはWindows 10ですか。
事 務 局	今回12月頃から更新を行いますが、その時点でWindows 10は公開されてまだ数カ月しか経過していないものになりますので、まずWindows 8.1の導入を行い、その後ライセンスの切り替えを行うかどうかは検討したいと考えております。
教 育 長	それでは、他に質問等がないようですので、打ち切ります。議案第34号は、提案内容のとおり議決することにご異議ございませんか。
各 委 員	異議なし
教 育 長	異議なしと認め、議案第34号は提案内容のとおり議決いたします。
教 育 長	次に「議案第35号 平成27年度海外留学奨学事業特別会計9月補正予算（案）について」を事務局より説明願います。
事 務 局	<p>今般、過去に海外留学奨学制度を利用した奨学生のご家族から、今後の海外留学奨学事業に役立ててほしいと5千万円の寄附をいただきました。</p> <p>その寄附金を一般会計で受け入れましたので、一般会計から海外留学</p>

	<p>奨学事業特別会計へ繰り出すため、教育委員会事務局費において増額補正するものです。</p> <p>海外留学奨学事業特別会計においては、歳入において、その寄附金を一般会計から繰り入れ、歳出において同額を海外留学奨学基金へ積み立てるための増額補正でございます。</p>
教 育 長	<p>どんな方なのか簡単に説明してください。</p>
事 務 局	<p>海外留学奨学制度は昭和53年度から開始した制度ですが、昭和54年度、2人目の留学生の方のお母様から寄附をいただきました。</p> <p>アメリカに留学した奨学生は、帰国後、日本とアメリカで防犯カメラのハウジングを製作する会社を興し、世界各国のメーカーに卸しているとのことで、留学の経験を活かし、ご活躍されています。</p>
教 育 長	<p>以上で説明が終わりました。何かご質問等がありましたら伺います。</p>
委 員	<p>寄附してくださった方には何かお返しするのですか。</p>
事 務 局	<p>先日、市長と面会されたので、既に市のホームページの市長フォトニュースに記事を掲載しております。今後広報戸田市や教育広報とだでも寄附についての記事を掲載し、海外留学奨学制度について更に広報したいと考えております。</p>
委 員	<p>是非お願いします。</p>
教 育 長	<p>それでは、他に質問等がないようですので、打ち切ります。議案第35号は、提案内容のとおり議決することにご異議ございませんか。</p>
各 委 員	<p>異議なし</p>
教 育 長	<p>異議なしと認め、議案第35号は提案内容のとおり議決いたします。</p>
	<p>【議案第36号を議決】</p>
教 育 長	<p>次に「議案第37号 全国及び県学力・学習状況調査の結果の公表の</p>

	方向性について」を事務局より説明願います。
事務局	<p>先程の教育委員提案で結果を報告いたしました埼玉県学力・学習状況調査と全国学力・学習状況調査の公表につきまして、本市の方向性を説明します。なお、全国学力・学習状況調査の本市の結果については、今月25日に国から送付されることになっておりますので、次回の定例教育委員会にて報告いたします。</p> <p>指導課では、全国と県の調査の公表方法について、慎重に検討を進めてまいりました。保護者や市民に説明責任を果たすことができるメリットはありますが、個々の学校の数値が公表されることで、学校の序列化につながったり、過度な競争を煽ってしまったりする恐れがあることや学力の特定の一部である調査結果のみで、学校の教育活動全体が評価され、児童生徒の学習意欲や教員の指導に対する意欲が低下する、また、これまで築き上げてきた学校・家庭・地域の協力体制が崩れるなどの懸念があります。さらに、調査の正答率を上げることにのみ執着し、教育の重要な柱である徳育や体育の軽視につながる恐れがあるなど、多くのデメリットが考えられます。</p> <p>これらのことを総合的に判断し、公表につきましては次のとおりとしたいと考えております。</p> <p>資料16ページをご覧ください。本市の結果につきましては、今までどおり、市全体の数値と分析結果を併せて教育センターのホームページで公開し、課題を明らかにし、改善の方法を示した「市学力向上プラン」を策定し、公表します。</p> <p>教育委員会が学校毎の結果を公表することにつきましては、先程述べましたとおり様々なデメリットがありますので、学校毎の数値の公表は行いません。ただし、調査の目的にあるとおり、それぞれの分析結果や課題、改善策などにつきましては、これまでも各学校で学力向上プランなどを作成し、組織を挙げて取り組んでいますので、そのような取組をホームページで示すように考えています。</p>

	<p>学校が自校の結果を公表することにつきましては、学校の判断でこれまでも可能となっておりました。公表する際は、分析結果や課題、改善策を併せて学校だよりやホームページ等で示していくよう指導してまいりたいと考えております。</p>
教 育 長	<p>以上で説明が終わりました。何かご質問等がありましたら伺います。</p>
教 育 長	<p>それでは、質問等がないようですので、打ち切ります。議案第37号は、提案内容のとおり議決することにご異議ございませんか。</p>
各 委 員	<p>異議なし</p>
教 育 長	<p>異議なしと認め、議案第37号は提案内容のとおり議決いたします。</p>
教 育 長	<p>次に「議案第38号 平成28年度使用中学校用教科用図書採択替えについて（案）」を事務局より説明願います。</p>
事 務 局	<p>平成28年度使用中学校用教科用図書採択替えに向けましては、委員の皆様には前回の定例教育委員会で意向をまとめていただきました。去る8月11日（火）、蕨市民会館におきまして、第3回埼玉県第四採択地区教科用図書採択協議会が開催され、本市教育委員会の委員2名を含めた採択協議会委員が選定及びその理由について協議を行いました。</p> <p>別添資料は、第四採択地区で選定された教科用図書とその理由に基づいた戸田市教育委員会としての採択及び採択理由の案です。本日は、採択協議会の選定に基づき、この案のとおり戸田市教育委員会としての教科用図書の採択及び採択理由としてよろしいか、ご検討をお願いいたします。</p>
教 育 長	<p>以上で説明が終わりました。何かご質問等がありましたら伺います。</p>
教 育 長	<p>それでは、質問等がないようですので、打ち切ります。議案第38号は、提案内容のとおり議決することにご異議ございませんか。</p>
各 委 員	<p>異議なし</p>

教 育 長	異議なしと認め、議案第38号は提案内容のとおり議決いたします。
事 務 局	補足ですが、来年度、特別支援学級在籍生徒も今回採択されました中学校用教科用図書を給与いたしますので、附則9条本の給与はありません。
教 育 長	それでは、本日の案件等すべて終了いたしましたので、以上をもちまして、本日の教育委員会定例会を閉会いたします。